

偶ぐう

成せい 《令和六年度暗唱⑥》

少年しょうねん老おい易やすく 学がく成なり難がたし

一寸いっすんの光陰こういん 軽かろんずべからず

未いまだ覚さめず 池塘ちとう春しゅん草そうの夢ゆめ

階前かいぜんの梧葉ごよう 已すでに秋声しゅうせい

(意味)

少年はすぐに年をとり、  
学問はなかなか思い通りに完成しない。

わずかな時間もむだにしてはならない。

池の土手の春の草の夢がまだ覚めない間に、  
階段の前の桐の葉には、秋風がおとずれる。